

第118期 株主通信

STANLEY REPORT

2022年4月1日～2023年3月31日

STANLEY

スタンレー電気株式会社
STANLEY ELECTRIC CO., LTD.

証券コード:6923



代表取締役社長

具佐 泰昭

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社は2023年3月31日をもって第118期の決算を行いましたので、ここにご報告を申し上げます。

2022年度の振り返り

2022年度の当社並びにグループ各社（以下、当社グループ）の業績は、売上高4,377億9千万円（前期比14.4%増）、営業利益349億2千6百万円（前期比25.9%増）、経常利益448億7千2百万円（前期比22.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益264億9千6百万円（前期比23.6%増）となりました。

世界経済は、中国では新型コロナウイルスの感染拡大によるロックダウンやゼロコロナ政策の影響等により厳しい状況となったものの、日本、米国、欧州、及びアジア各国では緩やかに持ち直しました。

自動車機器事業は、中国における感染拡大、前期から続く自動車生産計画の急激な変動による固定費負担の増加、及び樹脂材料や部材調達費用の高騰による影響を受けたものの、自動車生産台数及び二輪車生産台数の増加に伴い、自動車用ランプ・二輪車用ランプともに増加し、増収増益となりました。

コンポーネンツ事業は、液晶が増加し、また非可視光（赤外・紫外）LEDも増加しつつあるものの、部材調達費用が高騰した影響を強く受け、増収減益となりました。

電子応用製品事業は、操作パネルが増加したものの、

液晶用バックライトが減少し、加えて半導体不足等により部材調達費用が高騰したことによる影響を強く受け、増収減益となりました。

これらの結果、全体として増収増益を達成し、第Ⅶ期中期3ヶ年経営計画の最終年である当連結会計年度において将来の成長に向けた布石を着実に打つことができました。

また、当期の配当金につきましては、期末配当金は1株あたり25円とし、中間配当金の1株あたり25円と合わせて50円といたしました。

中長期的な経営戦略

当社グループでは、2023年度から「安全安心を実現し社会に貢献している～光の力で夢を現実に変える～」を指針として、第Ⅷ期中期3ヶ年経営計画をスタートさせました。これは、2020年に策定した「スタンレーグループ第3長期経営目標」で示されている3ヶ年ごとの経営計画に、2030年に想定される外部環境を考慮したバックキャストイングによる視点を加えて策定したものです。

新たな経営計画では、「TADAS思想のものづくり」「光の独自技術で新市場開拓」「One Stanleyでスピードのある挑戦」の3つのテーマに加え、経営目標として売上高5,500億円、営業利益率10%、ROE（自己資本当期純利益率）8%を掲げました。詳細は当社ウェブサイトを開示しておりますのでぜひご参照ください。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

スタンレーグループビジョン



スタンレーは、世界中のスタンレーグループで共有する基本的な価値観として、「スタンレーグループビジョン」を掲げています。私たちは、このビジョンのもとで、「光の価値」と「ものづくり」を徹底的に究め、真に必要なとされる価値を創造することで、広く社会に貢献します。

■ 路面凍結による交通事故削減に向けた実証実験を実施

静岡県裾野市と当社、加賀FEI株式会社、NTTコミュニケーションズ株式会社、ダッソー・システムズ株式会社は、4社で開発したスマート道路灯路面描画装置を活用し、路面凍結による交通事故削減に向けた実証実験を実施しました(2023年2月15日～3月31日)。

実験は道路に「凍結注意」の文字を光で描き、ドライバーへの注意喚起及び減速を促すもので、搭載したエッジAIカメラや環境センサーからモバイル通信でデータを収集、蓄積して分析することが可能です。当社は、スマート道路灯用LED照明器具と路面描画装置の開発・製造・提供を行いました。

また、気象データなどと組み合わせることで、降雪による渋滞予測情報の提示など、ドライバーに対して天候状況を踏まえた適切な情報提供を可能にします。今後は、他の自治体や新興国での普及を図ります。さらに、商業施設やPark-PFI*での活用、地方創生に向けた商店街との連携などビジネス領域を拡大し、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

*都市公園における民間資金を活用した新たな整備・管理手法



■ 富士フィルムビジネスイノベーション「ブロンズ賞」3年連続受賞



富士フィルムビジネスイノベーション株式会社が取引先を評価するプレミア認定制度において、当社は主要パートナーに13年連続で認定されるとともに、主要パートナーの中から優秀取引先2社に選出され、3年連続で「ブロンズ賞」を受賞しました。

長期化する部品不足の中、BCP活動を継続・徹底しお客様の生産ラインを繋いだこと、電子部品の価格高騰の中でもVA/VE活動*を推進したことで、QCD活動が評価されました。

*VA: 既存製品の品質維持+コストダウン VE: 低コストで必要な機能や品質を実現する製品開発

■ チームクニミツ高橋国光氏お別れの会

2022年3月16日に逝去された高橋国光氏を偲ぶ『お別れの会』を、11月21日に株式会社チームクニミツ、本田技研工業株式会社、当社の3社合同で執り行いました。

国内のモータースポーツ界の発展と、RAYBRIG、STANLEYブランドの価値向上に多大なるご貢献をいただいた国光氏に謹んで哀悼の意を表します。



国光氏のヘルメットデザインが入った祭壇

■ 自然災害からの復興支援

当社とThai Stanley Electric Public Company Limited(以下、THS)は、トルコ及びシリアの国境付近で発生した地震被害からの復興支援として、合わせて約500万円の寄付を日本赤十字社・タイ赤十字社へ行いました。このほか Stanley Electric GmbHより、ドイツ赤十字社を通じ寄付を行っております。

また、当社とTHSは、パキスタン・イスラム共和国(以下、パキスタン)における洪水被害からの復興支援として、合わせて約1,000万円の寄付を国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) へ行いました。

当社は2019年に、パキスタンの自動車市場の将来性を見据え、自動車用ランプの製造を行っているElectropolymers (Private) Limitedに対し、THSとともに出資しています。同社では直接的な被害はありませんでした。

災害によって亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

■ 当社契約プロゴルファーの活躍



金田久美子プロ「樋口久子 三菱電機レディスゴルフトーナメント」優勝

2022年10月28日～30日に開催された「樋口久子 三菱電機レディスゴルフトーナメント」で当社所属の金田久美子プロが11年ぶりの優勝を果たしました。

長く勝てない日々が続いても、練習を怠ることなく、決して諦めずに挑み続けてきたことが実を結びました。これからも変わらぬ応援を、よろしくお願い申し上げます。

菅沼菜々プロワッペンスポンサー契約

当社は菅沼菜々プロの「高い目標に向かって挑戦する姿」に共感し、2023年2月1日にワッペンスポンサー契約を締結しました。2022シーズンはトップ10入り15回を果たし、メルセデスランキング8位、年間賞金ランキング9位と活躍し、今後の大きな飛躍が期待されています。当社のロゴ入りウェアを着用しトーナメントに参戦していますので、ご注目ください。

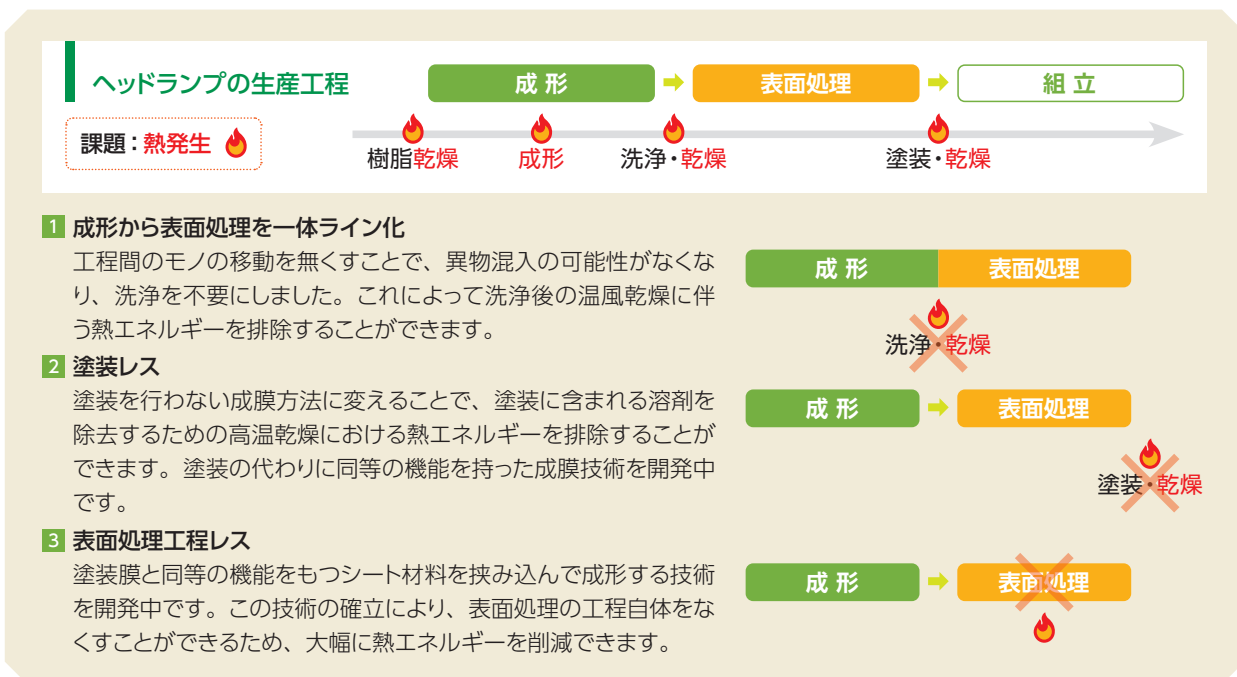


ESGの取り組み

カーボンニュートラルの実現に向けたものづくり改革

当社グループでは、2050年度カーボンニュートラル実現に向けて、再生可能エネルギーに大きく頼ることなく、エネルギー効率をよくする「ものづくり改革」を行っております。事業活動におけるCO₂排出量を2030年度までに2019年度比で50%削減することを目指しています。

当社の主力製品である自動車ランプの樹脂部品の成形から表面処理までの工程では、多くの熱エネルギーを消費しており、生産工程全体の約4割のCO₂を排出しています。これらの工程のCO₂排出量を削減させるための「熱を使ったものづくりを減らす」施策を3つご紹介いたします。



これらを実現することで、工程をなくしたり、製造工程を簡素化することができるため、原価低減にも寄与し、コスト競争力を落とさずに、カーボンニュートラル目標を達成させる目論見です。

健康経営優良法人に認定

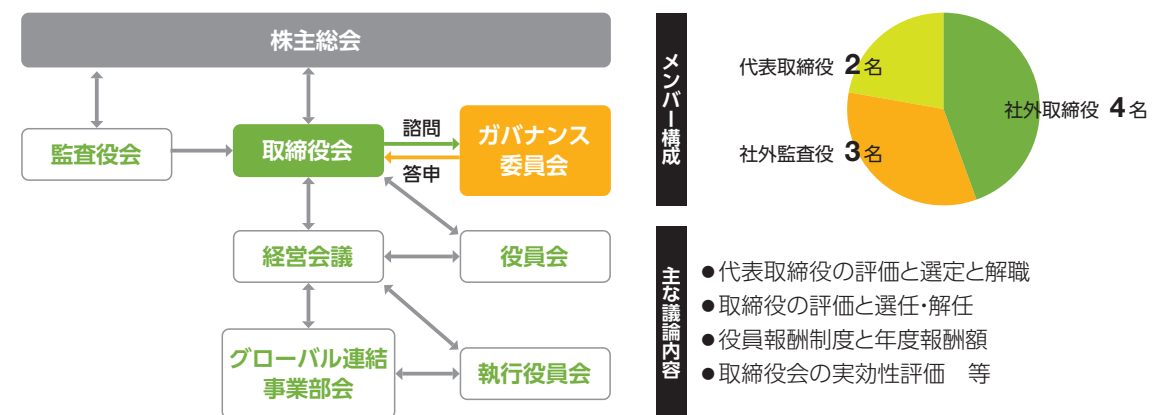
当社は、社員の健康づくりに取り組むことで社員の生産性や活力を向上させ、持続的に成長する企業を目指しています。健康経営推進会議を発足し、全社的な推進体制を構築いたしました。また、健康保険組合や労働組合とも連携し、健康課題の把握や各種施策を立案・実施しております。その結果、経済産業省より「健康経営優良法人」として認定されております。



ガバナンス委員会による独立性・客観性の確保

当社のガバナンスの特徴は、任意の指名報酬委員会であるガバナンス委員会の存在です。ガバナンス委員会は取締役会の諮問機関として、当社の持続的成長につながる幅広い提言を行うことを目的とし、社外取締役4名、社外監査役3名、及び代表取締役2名と、社外役員が過半数を占める構成で、委員長は社外取締役となっています。取締役会は、ガバナンス委員会による答申の内容を勘案し、各事項の決定を行うこととしています。例えば、2022年4月就任の代表取締役社長の選定、及び6月就任の女性の社外取締役の選定においては、当社の持続的成長、取締役会の多様性等を幅広く議論した結果、ガバナンス委員会から取締役会へ答申され、承認されました。

ガバナンス委員会を通じて取締役会の機能の独立性・客観性を確保し、内部統制の強化と中長期的な企業価値向上を図ってまいります。



■ 会社の概要

創 業 1920年12月29日(大正9年)
設 立 1933年 5月 5日(昭和8年)
資 本 金 30,514百万円
社 員 数 16,964人(連結)
3,819人(単体)

■ 拠点

本 社 東京都目黒区
営 業 拠 点 大阪/名古屋/大宮/狭山/朝霞/鈴鹿
生 産 拠 点 秦野/岡崎/浜松/広島/山形
研究開発拠点 横浜/宇都宮/秦野
連結子会社 国内8社、海外29社
持分法適用会社 海外3社

■ 事業内容

自動車機器事業

- ヘッドランプ(LED・HID・ハロゲン)
- リアコンビネーションランプ
- ターンシグナルランプ
- フォグランプ
- 自動車用バルブ(LED・電球) 他



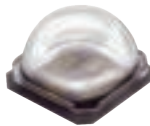
ヘッドランプ
(Honda・ACCORD)



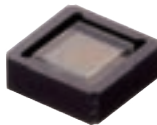
ヘッドランプ
(Honda・NT1100)

コンポーネンツ事業

- LED(紫外・可視光・赤外)
- 光センサー
- 液晶表示デバイス
- UV-CCL(紫外線冷陰極管)
- 超小形電球 他



深紫外LED(水除菌)



赤外VCSEL(キャビンモニタリングシステム)



電子応用製品事業

- LED照明(景観・道路等)
- 操作パネル
- 液晶用バックライトユニット
- カメラ用ストロボ
- 車載用センサー
- UV除菌製品 他



ヒーター
コントロールパネル



流水用UV-C LED除菌装置
A2NUV_Aqua
(純水装置・産業機器の水回路)

■ 連結財務ハイライト

売上高

4,377億円

営業利益

349億円

経常利益

448億円

親会社株主に帰属
する当期純利益

264億円

STANLEY

スタンレー電気株式会社
STANLEY ELECTRIC CO.,LTD.

〒153-8636 東京都目黒区中目黒2-9-13
TEL:03-6866-2222 FAX:03-6866-2678
URL:<https://www.stanley.co.jp/>

表紙に使用

フルカラーLED投光器
LEDSFOCUS PRO

独自の光学系による美しい投影光と無限のカラーバリエーションにより、あらゆる演出やライトアップに幅広く使用できる照明です。

